

ここまでのあらすじ

サラキアは、
どこにでもいる普通の女の子
……とは、ちょっと
かけ離れた風貌の
15歳、中学3年生。

とあるウワサ話を試したことで
パートナーのデジモン、

「ジェリーモン」

と

「腹を殴られると
デジタルワールドへの
転移ゲートを開く」

という特技を
手に入れました。



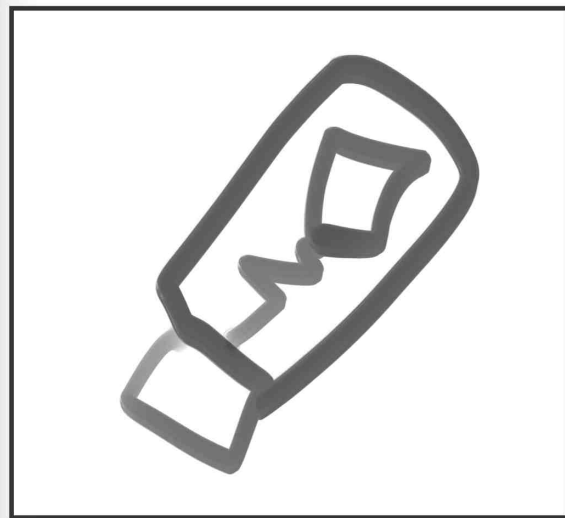
開いたゲートを誰かが通ると

「D i Mカード」

というアイテムが作られる
ことも分かりました。

ジェリーモンは
色んなことに結構詳しく、
いわくこのD i Mカードは
デジモンの「進化」についての
可能性などといった情報が
記憶されているのだとか。

具体的な話はさておき
このD i Mカード、
どうやら色々使えるし
売れば結構いいお値段に
なるようです。



さっそく、サラキアと
ジェリーモンは
デジタルワールドから
現実世界に来てしまい
帰りがっている
デジモンたちを
送り返し始めました。

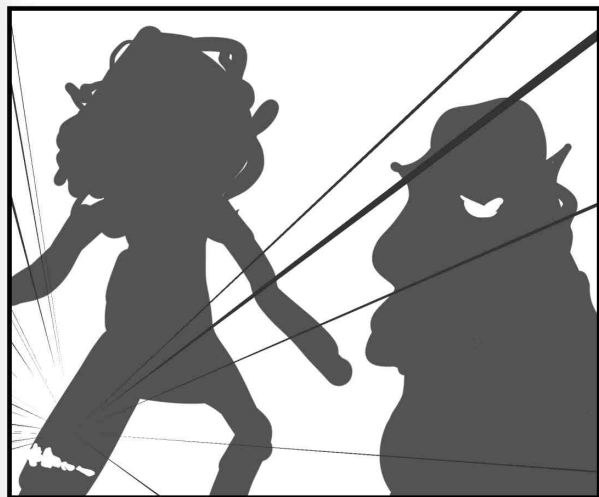
もちろん、
善意も無くはないですが
狙いはD i Mカード。

見る人が見れば
分かる品らしく
数万円の値段を付けた
D i Mカードが
どんどん売れます。

ジェリーモンを見て
サラキアの母親、
ルイーザが
特別なアイテムを
作ってくれました。

…見た目はどう見ても
何かの**オモチャ**を
ツギハギしたガラクタで
ダサイことこの上ないですが
なかなか高機能なようです。

コイツのおかげで
ちょっとだけ強そうな
デジモンにも臆することなく
ふたりは交渉ができるように
なりました。



中学三年生のお小遣いとしては
破格のお金を手に入れて
ふたりは毎日ハッピーです。

お金さえあれば
渋谷近郊に住んでいる
サラキアたちは遊ぶ場所に
まったく困りません。

ジェリーモンも
現実世界に来て
良かったとご満悦。

学校の同級生たちからは
急に羽振りがよくなり

ときどきひとりで
喋っているサラキアは
**良くないことに
手を出し始めたのでは**

…と、悪いウワサに
なっているようですが。

この現実世界に
来てしまった
デジモンたちは、
基本的に人間たちや
カメラなどの機器からは
不可視となっています。

リアライズ
様々な要因で「実体化」
することもあります。

このままでも
デジモンたちから
様々な物質への
干渉は可能ですので…

デジモンたちが
集まって暮らしている
場所があったとすれば、

それは
「心霊スポット」
として

ウワサになるのです。

サラキアも元はと言えば
ネット上のウワサを試して
デジモンと出会った子です。

受験も控えているのに
ろくに勉強もせず
部活にもいかず
友達関係も喪いかけている
愚かな子ですが

この傾向には
気が付きました。

何らかの形でデジモンと
関わった人間はデジモンを
視認できるようになる

のですが、
皆さんそれを暗黙の了解で
口外しないように
しているようですね。

言いふらすと国家権力に
口を封じられるのだとか。

まあ、当たらずとも
遠からずですが。

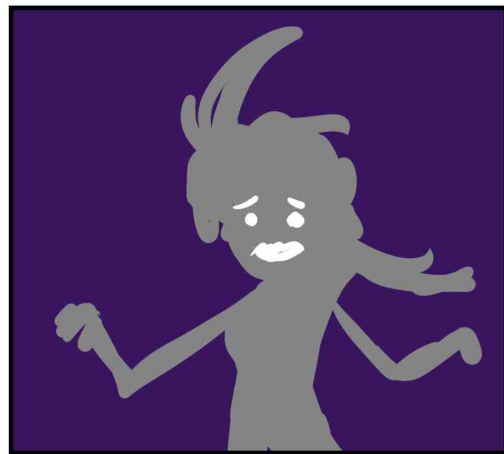
話が逸れましたけど、
そんなわけで
見る者が見れば
心霊スポットのウワサは
デジモンが集まって
その日暮らしをしている
寄合所だという想像が
できるわけですね。

D i Mカード商売も
軌道に乗ってきたことですし
サラキアたちは
仕入れを拡大しようと
思い至ったようです。

果たして、
この予想は
正解でした。

たくさんのデジモンを
送り返したふたり。

ですが、
どうやらこの場所に居た
デジモンたちの面倒を
見ていた者がいた様子…



彼女はサラキアたちを
敵と見做し、
デジモンのような姿に変身。
躊躇なく攻撃しました。

威勢の割にはザコで
あっさりと撃退
してしまいましたけども。

…ですが、
自分が誰かに
迷惑をかけているかも
などという考えが
微塵もなかった
サラキアには少し
ショックだったようです。



…とまあ
こんなところでしょうか。

母親にもこの件に
関して尋ねたようですが、
あの人はこういうとき
勿体ぶる悪癖が
ありますので。

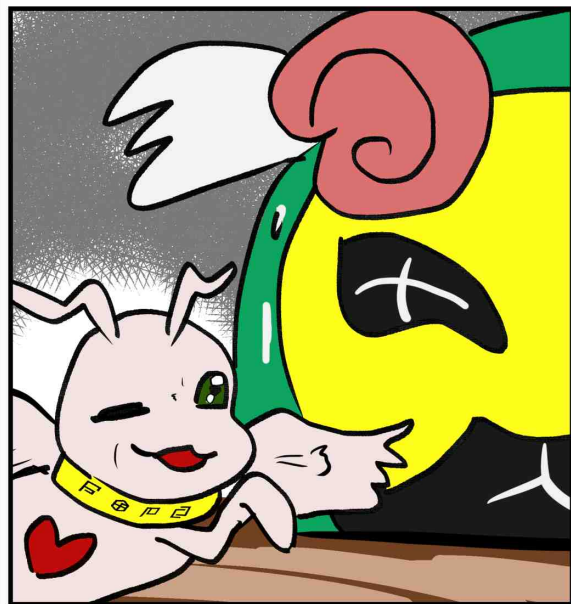
回答を得られず
ふたりは調査に
のりだしたようですね。

--ありがとうございました。

ところで…

些か色々な方面に
辛辣な気がするのですが…

え、そうですかね。
デジモンの私が
こう思うくらいですから。
きっと人間ならもっと
ボロクソ言うと思いますよ？



网 7 网 网 网 网 网 网 网...